

平成27年度第3回鎌ヶ谷市学校給食センター運営委員会会議録

開催日時 平成28年3月24日(木)午後3時00分～4時00時

開催場所 学校給食センター2階多目的会議室

出席者 (1) 委員：鈴木吉久委員長、関和久副委員長、内本美鈴委員、  
横井隆子委員、堀内裕子委員、高島尚子委員、  
引田満委員、山口夏子委員  
(2) 事務局：小島邦夫学校教育課長、  
仲田政樹給食管理室長、後野真弥主査

欠席者 飯田博委員、浅海靖弘委員

傍聴者 3名

1 開 会

2 議 題

会議録署名人の選出について

会議録署名人を引田満委員、山口夏子委員を指名(名簿順)

(1) 平成27年度第3四半期PFI事業モニタリング結果について  
事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

引田委員：(水質検査において)大腸菌は0でなくてはいけないのか。

事務局：基準値は、1立方センチに対して3,000個以下となっている。

(2) 全国学校給食週間の報告について  
事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

質疑無し

(3) 食育の取り組みについて

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

内本委員 : 食育についての市民や子供たちに対しての対応は、温かいものを感じた。残食の少ないクラスについて、学校によって差があるのはなぜか。子どもの体格と関係が見られるのか。

事務局 : よく食べるクラスの様子を見させていただいた時に感じたことは、担任の先生の関わり方が大きく影響しているのではないかと思われる。

高畠委員 : おかずによっては、ご飯が多く残ることがある。ごはんが食べやすい献立を考慮してもらえともっとご飯を食べるのではないか。また、ご飯の方が食べるので、ご飯の日を増やして欲しい。

事務局 : ご飯を委託している業者の工場のキャパシティもあるが献立等については検討する。

(4) 給食アンケート結果の報告について

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

質疑無し

(5) その他

<質疑等>

関副委員長 : 除去食について伺いたい。卵・乳の除去食を希望している児童がいるが、医者にかかったところ、イクラのアレルゲンが少しあることが分かった。現時点では対象とならないが、自己除去という形で対応できないのか。

事務局 : 除去食からの自己除去についての要望は以前からあり、認識している。29年度からの除去食対応の第二段階に向けて、28年度は

検討していくことになる。その際に、自己除去についても検討課題としている。

関副委員長：食物アレルギー対応で詳細献立表が必要な児童に管理指導表の提出をお願いしているが、お弁当持参の児童の場合、学校で対応していないのになぜ出すのかという保護者もいる。詳細献立表は必要だが、管理指導表を出してもらうのはきびしい。

引田委員：提出状況が悪いのはなぜか。

関副委員長：原因としては、管理指導表を書いてもらうための費用が大きい。

事務局：管理指導表の提出は、食物アレルギー対応の指針に基づいた対応であるため、必要と考えている。

関副委員長：安全が第一だと考えているが、現状として難しい状況がある。

引田委員：アレルギー疾患対策基本法が施行され、学校の設置者の責務について定められている。調布の食物アレルギー事故からきびしくなっている。根気よく説明し理解を得ていくしかない。

管理指導表については、医者がサインをする以上は、責任が生ずるため、文書料を取らないわけにはいかない。料金は医者の裁量となっており、統一することはできない。医者の責任を考えると金額設定は難しい。

鈴木委員長：貴重な意見を今後の活動に活かして欲しい。

事務局：了承した。

### 3 閉 会

【会議終了】

以上会議の経過を記載し、相違ないことを証する。

平成28年 4月20日

署名人 山口 夏子

平成28年 4月22日

署名人 引田 満